

つくろう、科学とともにある社会





サイエンスアゴラは、子ども向けの理科実験、トップ科学者との対話、市民参加の科学討論など、誰もが参加でき、科学と社会とのつながりを大切にした日本最大級の科学フォーラムです。政治家、行政、マスコミ、産業界、研究者、その他一般の方々など、あらゆる人に開かれた広場です。

10回目の開催となる今年からビジョンとして「つくろう、科学とともにある社会」を掲げました。科学とともにある社会をつくらうと「行動している人」が集まり、お互いの活動に関心を持ち、仲間を募り、それぞれの活動を発展させていく場として、さらにはこれから「行動を起こそうとしている人」も参加できる場として、新しい価値が生まれ続けることを目指します。



サイエンスアゴラ2015概要

開催結果	3-5
セッション報告	6-8
機関賞・参加者特別賞	9-17
実施プログラム一覧	18-20
みなさまの声	21-25
	26

■サイエンスアゴラとは

サイエンスアゴラは、あらゆる人に開かれた科学と社会をつなぐ広場の総称です。この広場は、異なる分野、セクター、年代、国籍を超えた関係者を結んで私たちが主体的に推進する個々の活動の場です。この広場に集まる私たちは多様な価値観を認め合いながら力を合わせてこれからの科学とともにある社会をつくります。

■2015の開催趣旨

サイエンスアゴラの将来あるべき姿を示すものとして、ビジョンを次のように設定しました。



つくろう、科学とともにある社会

サイエンスアゴラの10周年記念大会として、サイエンスアゴラ2015(10周年記念年次総会)を開催しました。これからのサイエンスアゴラは、従来以上にますます、科学と社会の対話促進のためのプラットフォームとして機能し、サイエンスコミュニケーションを通じて科学とともにある社会を共創します。それに当たり、サイエンスアゴラ2015(10周年記念年次総会)では企画提供者・来場者を「行政」、「専門家」、「事業者」、「メディア」、「市民」の5つのセクターに分類しました。それぞれが異なる役割を担い、それぞれの立場から社会と科学をつなげることを期待しています。



■想定される期待

セクター	企画提供者としての期待	来場者としての期待
行政(政策立案者など)	<ul style="list-style-type: none"> 自分達が実施している政策・今後策定していく政策への専門家、事業者、メディア、市民の意見を聴きたい 政策に関して、専門家、事業者、メディア、市民の疑問に応えたい 若手の行政分野でのキャリア開発に貢献したい 	<ul style="list-style-type: none"> 専門家、事業者、メディア、市民の活動を見て自分の政策立案・実施に役立つ新しい洞察、共感、仲間を得たい 自分の行政分野での経験を活かした新しいキャリア開発を考えたい
専門家(研究機関・大学の研究者、学校教員など)	<ul style="list-style-type: none"> 自分の取り組みを他の分野の専門家、行政、事業者、メディア、市民に理解してもらい、新しい洞察、共感、仲間を得たい 自分の専門分野に関して、行政、他分野の専門家、事業者、メディア、市民の疑問に応えたい 若手の専門家としてのキャリア開発に貢献したい 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の研究分野以外の分野での取り組みも知りたい(異分野交流) 行政、事業者、メディア、市民の取り組みも知りたい(異業種交流) 自分の新しい研究の方向性について、洞察、共感、仲間を得たい 自分の専門家としての経験を活かした新しいキャリア開発を考えたい
事業者(製造業者、サービス業者など)	<ul style="list-style-type: none"> 自分の取り組みを他の分野の専門家、行政、事業者、メディア、市民に見てもらい、新しい洞察、共感、仲間を得たい 自分のビジネスに関して、行政、専門家、他の事業者、メディア、市民の疑問に応えたい 若手のビジネス分野でのキャリア開発に貢献したい 	<ul style="list-style-type: none"> 行政、専門家、他の事業者、メディア、市民の活動を見て自分のビジネスに役立つ新しい洞察、共感、仲間を得たい 自分のビジネス経験を活かした新しいキャリア開発を考えたい
メディア	<ul style="list-style-type: none"> 自分の取り組みを他の分野の専門家、行政、事業者、他のメディア、市民に見てもらい、新しい洞察、共感、仲間を得たい メディアに関して、行政、専門家、事業者、他のメディア、市民の疑問に応えたい 若手のメディア分野でのキャリア開発に貢献したい 	<ul style="list-style-type: none"> 報道の素材を発掘したい 行政、専門家、事業者、他のメディア、市民の活動を見て自分の仕事に役立つ新しい洞察、共感、仲間を得たい 自分のメディア分野での経験を活かした新しいキャリア開発について考えたい
市民	<ul style="list-style-type: none"> 自分の取り組みを他の分野の専門家、行政、事業者、メディア、他の市民に見てもらい、新しい洞察、共感、仲間を得たい 自分が関わる市民活動に関して、行政、専門家、事業者、メディア、他の市民の疑問に応えたい 若手の市民活動におけるキャリア開発に貢献したい 	<ul style="list-style-type: none"> 行政、専門家、事業者、他のメディア、市民の活動を見て自分に役立つ新しい洞察、共感、仲間を得たい 自分の市民活動の経験を活かした新しいキャリア開発について考えたい

■2015の運営面での主な取り組み

- サイエンスアゴラ2014に引き続き、多様なステークホルダーの参画を図るため、休日だけでなく平日にも開催しました。
- サイエンスアゴラ2014に引き続き、アゴラの趣旨を象徴する開幕セッション、アゴラキーノートセッションなどを多様な機関が共同で企画しました。幅広い参加を得るため国内外より政治・行政、産業界、研究者コミュニティのキーパーソンを招聘しました。
- 初めて国内外の機関から「協賛」を得ました。
- サイエンスアゴラへの「事前登録」を初めて実施しました。
- スタンプラリーの実施やPepperによる呼び込みなど、魅力アップに努めました。
- 機関賞の表彰を実施しました。
- 交流会を多様な機関と共催し、企画提供者の交流を図りました。

■開催概要

日 程：2015年11月13日(金)～14日(土) 10:00～17:00、11月15日(日) 10:00～16:30(一部例外あり)

主 催：国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)

会 場：日本科学未来館、産業技術総合研究所臨海副都心センター、東京都立産業技術研究センター、東京国際交流館、シンボルプロムナード公園、フジテレビ湾岸スタジオ

共 催：日本学術会議、国立研究開発法人産業技術総合研究所、地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター、独立行政法人日本学生支援機構、国際研究交流大学村、東京臨海副都心グループ

協 力：株式会社フジテレビジョン

協 賛：EuroScience、韓国科学創意振興財団、株式会社KADOKAWA、株式会社角川アップリンク

後 援：内閣府、外務省、文部科学省、独立行政法人国立科学博物館、独立行政法人日本学術振興会、国立研究開発法人理化学研究所、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、国立研究開発法人海洋研究開発機構、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構、大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台、一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会、一般社団法人日本経済団体連合会、公益財団法人日本科学技術振興財団・科学技術館、東京都教育委員会、埼玉県教育委員会、神奈川県教育委員会、千葉県教育委員会、全国中学校理科教育研究会、全国科学博物館協議会、全国科学館連携協議会、日本科学技術ジャーナリスト会議、一般社団法人日本サイエンスコミュニケーション協会、公益社団法人応用物理学会、公益社団法人日本化学会(24団体)



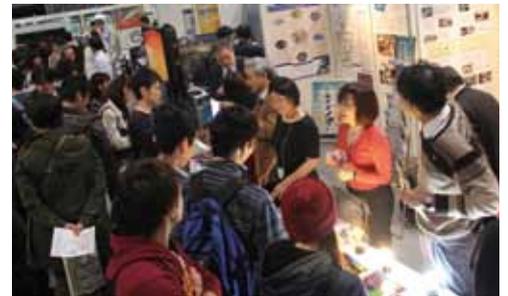
■2015の話題

サイエンスアゴラ2015では、以下の話題を設定しました。2015年時点の時代認識から、その年ならではのものを主催者が設定しています。(企画はこれらに限定していません。)

①「ひかり」を通して見る人類の歩みと未来～原始から原子まで～

2015年は国際光年です。「ひかり」を通して人類の歩みをふりかえると、私たちに新たな視野が与えられます。原始時代に暗闇を照らす火の利用は人類に大きな力を与えました。また、天文や通信、エネルギー、さらに芸術の分野でも、人類は「ひかり」を様々な活用に活用し、喜びや悲しみを生み出してきました。

「ひかり」を通して将来を考えてみませんか。社会に新しい展望を与える取り組みを集めます。



②サイバー社会とは何か？

私たちが直面する「サイバー社会」とは、どのような社会なのでしょう？技術の発展により私たちの日常生活は否応なく変化していきます。これからの産業、社会制度、生活をどのように変えていきたいのか、私たち一人ひとりの意志が問われています。

「マイナンバー」が通知される今年、サイバー社会の展望について一緒に議論し、行動につなげましょう。社会の構造変革を先取りした、新しい思想や哲学を持った動きを集めます。



③2020年の社会をつくる

～第5期科学技術基本計画の目指すもの～

2020年はどのような社会になっているのでしょうか。震災からの復興や東京オリンピックなど、5年後の日本の姿について、一緒に想いをはせてみませんか。

2016年から2020年までの第5期科学技術基本計画が始まります。

科学技術の飛躍的な進展とグローバル化による大変革時代を先取りして、科学とともにある社会をつくらうとする取り組みを集めます。

サイエンスアゴラ推進委員会

関係機関、外部機関メンバーによる「サイエンスアゴラ推進委員会」を設置し、各種推進にかかるアドバイスをいただきました。
また、事前から当日までアゴラの盛り上げに貢献いただきました。

- サイエンスアゴラ2015公募企画の選考
- サイエンスアゴラ2015各賞の選考
- サイエンスアゴラ2016運営方針の策定
- その他（サイエンスアゴラの周知、サイエンスアゴラ運営に対する個別アドバイス等）

委員長	小出重幸	日本科学技術ジャーナリスト会議 会長
委員	上田昌文	特定非営利活動法人市民科学研究所 代表理事
委員	江渡浩一郎	産業技術総合研究所 知能システム研究部門 社会知能研究グループ 主任研究員
委員	江守正多	国立環境研究所 地球環境研究センター（気候変動リスク評価研究室） 室長
委員	駒井章治	奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科 准教授
委員	須藤靖	東京大学大学院理学系研究科 教授
委員	中川晋巳重	公益財団法人京都高度技術研究所 地域産業活性化本部 コーディネータ
委員	永原裕子	東京大学大学院理学系研究科 教授

広報ツール制作・配布・掲出先

●印刷部数

ポスター／2,500部
チラシ／大人向け:70,000部、子ども向け:70,000部
プログラム／事前配布用:2,000部、当日配布用:14,000部

●主なポスター／チラシ配布先・掲出先

近隣小中学校(江東区立小学校45校、中学校23校／大田区立小学校59校、中学校28校)、
主催・協力・後援名義先24機関、近隣大学等8箇所、近隣塾・予備校4箇所
同封配布(サイエンスウィンドウ16,580箇所、JST news 4,000箇所)
交通駅貼り広告(りんかい線:東京テレポート、大井町)
イベント:イノベーション・ジャパン、SIPシンポジウム、数学甲子園全国大会など

●主な掲載媒体

【TV】

NHK:おはよう日本(11月14日(土) 午前7:45-)
NHK:サイエンスZERO(放送日不明。アゴラ取材というよりも、特定の研究者を取材)
東京ベイネットワーク:「ベイネットコミュニティチャンネル ベイネットニュース」
(11月18日(水)-24日(火)午前8:00～ 午後1:00～ 午後5:00～ 午後10:00～ (20分))

【新聞】

読売新聞2015年10月15日(木)夕刊

【雑誌】

情報管理10月号、日経サイエンス11月号(対談記事)／12月号、学術の動向11月号、JSTnews11月号、東京シーサイドストーリー 11月号、タウン情報誌「アエルデ」11月号

【メールマガジン】

文部科学省(マナビー・メールマガジン、初中教育ニュース)、日本学術会議ニュース・メール、JSTニュースメールマガジン、JST産学官連携メールマガジン、JST基礎研究通信、理科ねっとわーくメルマガ、理数大好きnews、日本科学未来館Miraikan news、科学技術館メールマガジン、日経サイエンスメールニュースなど

【Web掲載】

Yahoo!ロコ(地域情報)、朝日新聞デジタル、全国イベントガイド、江東おでかけ情報局、じゃらんnet、東京都報道発表、日本の歩き方(地球の歩き方)、JRおでかけネット、J-Net21、えきねっと、BIGLOBE旅行、Walkerplus、エンタ魂、researchmap、ニコすぽっとサーチ、ZAQおでかけガイド、ダイワロイネットホテルズ イベント検索、観光ガイド-ゆこゆこネット-、地域ポータルサイトまちこみZAQ、東京お台場.netネットなど

【取材による記事掲載】

マイナビ

10代の若き研究者たちがバイオテクノロジーで世界へ挑戦! - WBT アンバサダー・プログラム(11月16日(月))

http://news.mynavi.jp/articles/2015/11/16/scienceagora_wbt/

「第二次オープンサイエンス革命」は起こせるか? - 科学研究におけるオンラインコラボレーションの事例(11月19日(木))

http://news.mynavi.jp/articles/2015/11/19/agora_openscience/





サイエンスアゴラ2015実績

参加者数 計9,145人

	11/13 (金)	11/14 (土)	11/15 (日)	サテライト	合計
一般来場者	787	2,320	3,955	20	7,082
招待者等		57		10	67
企画提供者		1,963		10	1,973
プレス		23		0	23

※今年度は、サテライトアゴラとして、理数学習推進部が下記を開催
平成27年10月3日(土)「女子中高生が自由な進路選択をするためには何が必要か」

出展団体数 計169団体

プログラム数 計195プログラム

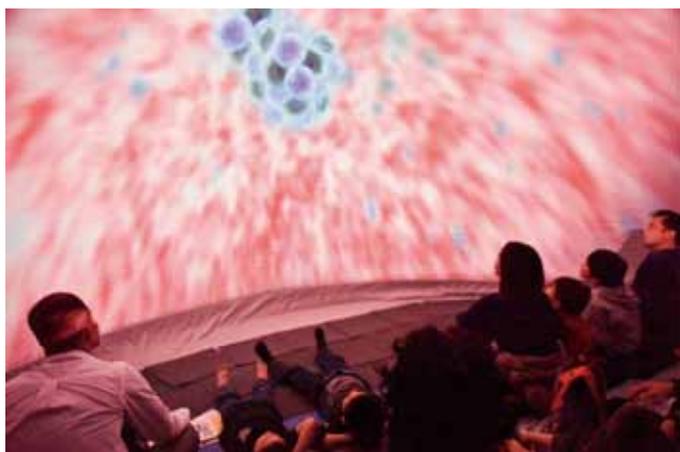
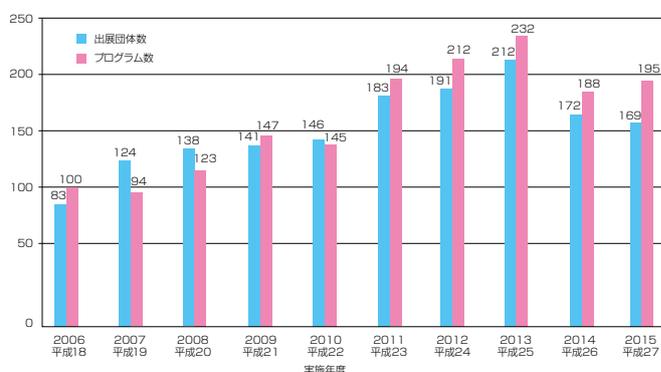
出展プログラムの内訳

	11/13 (金)	11/14 (土)	11/15 (日)	サテライト	合計
ブース出展	8	123	119	0	127
セッション枠	7	30	36	1	68

年度別参加者推移



年度別出展団体数・プログラム数推移



■ 来場者アンケート結果

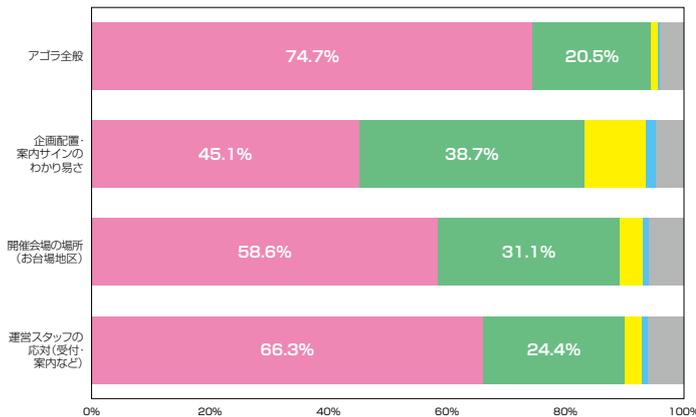
対象期間：2015年11月13日(金)～15日(日)

回答数：659件(対象者数：7082名)

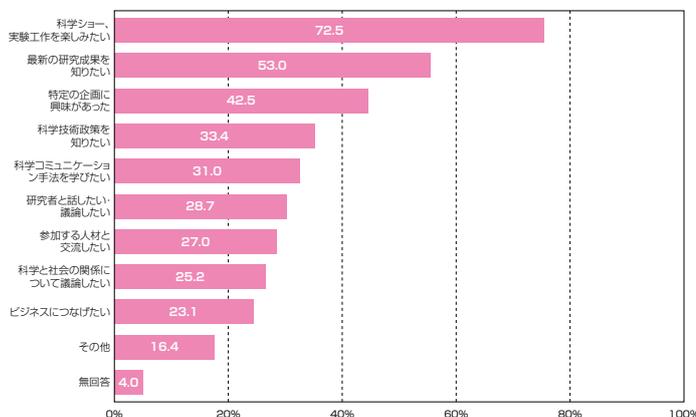
回収率：9.3%

回収方法：受付時にアンケート用紙を配布。
総合受付、会場案内所にて回収。

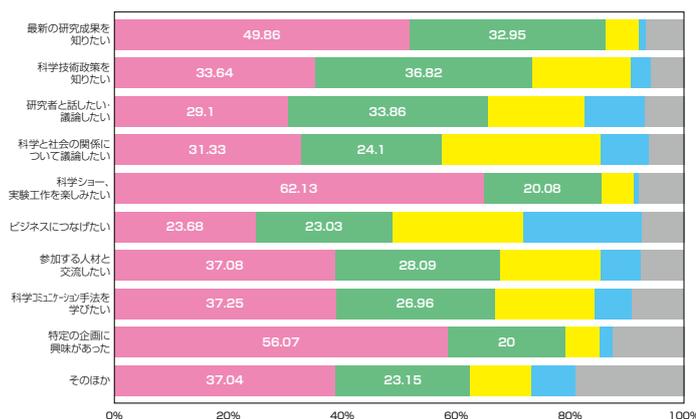
Q1 サイエンスアゴラの感想を教えてください。



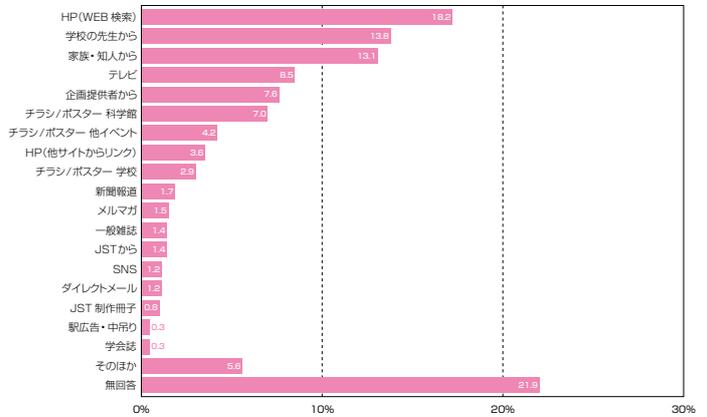
Q2 サイエンスアゴラにご来場された目的を教えてください。



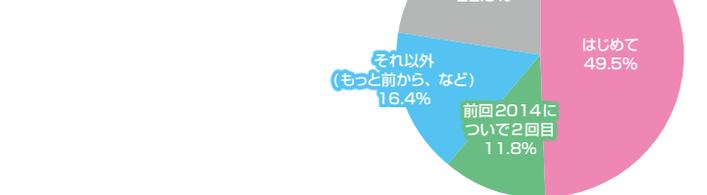
Q3 来場された目的の達成度を教えてください。



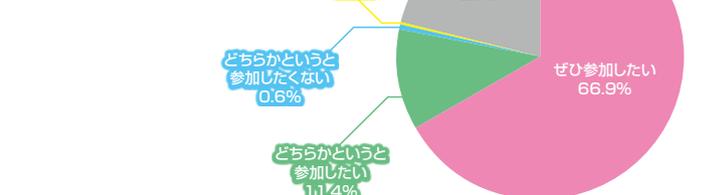
Q4 サイエンスアゴラ2015をどこで知りましたか? あてはまるものをすべて選んでください。



Q5 サイエンスアゴラへの来場回数を教えてください。



Q6 サイエンスアゴラにまた参加したいと思われますか?



■ 来場者のみなさまより

- 来場前にどういったブースで何をやるか、一覧でわかると嬉しいですよ(参加整理券を配るもの、飛び入り参加可能のもの、所要時間など)。
- 最先端研究を知るには、とても良い機会でした。家族で参加しましたが、サイエンスに興味を持つキッカケになりました。学生の時にあったらと思える内容でした。職業の選び方もかわったかもしれません。
- 土曜の早い時間から参加したが、科学・化学の先生がマンツーマンに近い形で受講できて大変良かった。
- 全体として何をしたいのかが良く分からない。少しテーマをしぼる等、しっかり方向性を示すべきでは?
- 小1の科学好きの息子と来場しました。すばらしい企画ばかりで、かつ子供も関心を寄せる分かりやすい内容でどれも良かったです。
- 今回たまたまTVでこのイベントを知りました。とても良かったので、事前の広告をもっと出して欲しいです。学校向けにパンフレットを配布して欲しいです。次回も楽しみにしています。
- 昨年よりも参加者が多かった印象。出展ブースが多く、1日ではまわりきれなかった。A会場は混雑していたので、スペースを広くとってはどうでしょうか。

■ 企画提供者アンケート結果

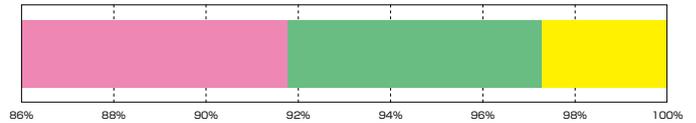
調査方法：全企画提供者を対象にオンラインフォームから回答受付

調査期間：2015年12月3日(木)～21日(月)

回答数：118件

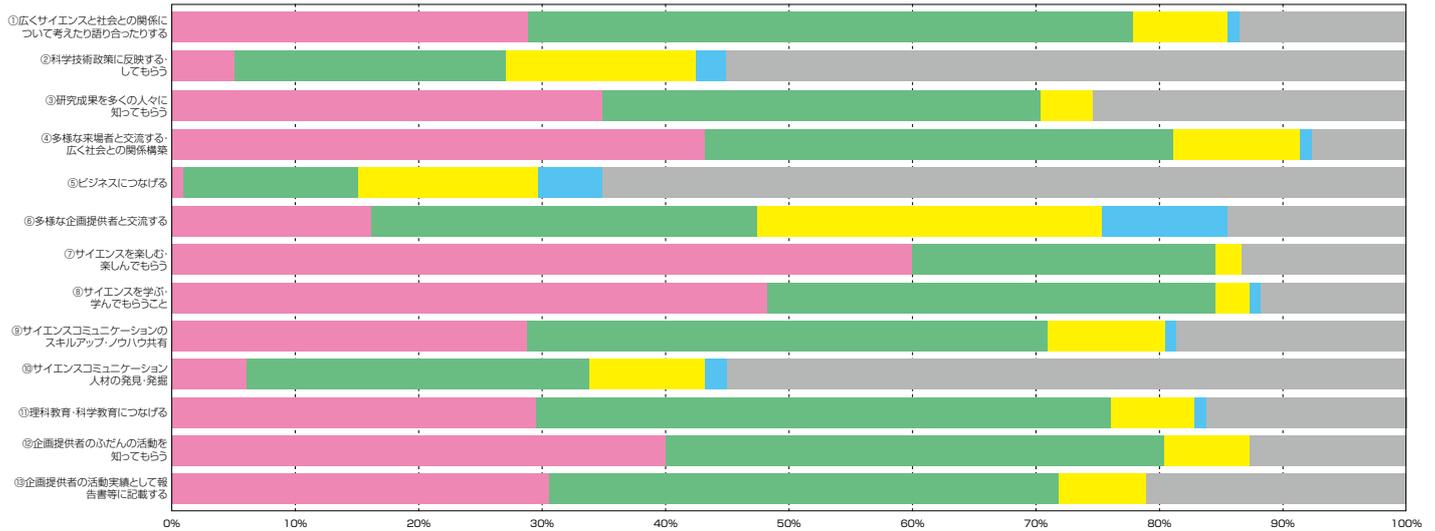
Q1 サイエンスアゴラ2015への感想を教えてください。

■ 良かった
■ まあまあ良かった
■ あまり良くなかった
■ 良くなかった



Q2 あなたがサイエンスアゴラ2015に企画提供した目的と達成度を教えてください。

■ 良くできた
■ まあまあできた
■ あまりできなかった
■ できなかった
■ 想定していない



Q3 サイエンスアゴラ2015の運営等について、ご意見をお聞かせください。

■ 良かった
■ まあまあ良かった
■ あまり良くなかった
■ 良くなかった
■ わからない



■ 企画提供者のみなさまより

① 一般の方々の目線から自分たちの研究を振り返ることができ、またいろいろな研究者の方々との交流も持つことができ、楽しかったし、新鮮な体験だった。

② 多くの参加者の方に私たちのワークショップに参加してもらい、科学分野のみではない方とお話することができて勉強になりました。

③ とてもバラエティーに富んだプログラムがたくさん出展されていて、興味深いものでした。2回目の出展でしたので、手際よく準備&撤収が

でき、また宅急便などの受け付けもスムーズでした。今後ともよろしくお願ひします。

④ 理科離れ、科学離れの子も達が増えているとは思えないくらいに、科学に興味を持つ子ども達が多いと感じた。

⑤ 全体的に盛況であったと思う。各展示ブースの場所については、もう少しテーマ別とか課題別に整理されていた方が歩きやすいと思う。

⑥ 模型の実演で、「すごい」「感動した」と、多くの方に感動していただき、今後の実用化に向けてパワーをいただいた。サイエンスアゴラは実践を見ていただける場で、これを日本の科学技術のため全国に展開していただきたいと思っています。

サイエンスアゴラ2015では、「つくろう、科学とともにある社会」というビジョンおよび『「ひかり」を通して見る人類の歩みと未来 ～原始から原子まで～』、「サイバー社会とは何か?」、「2020年の社会をつくる ～第5期科学技術基本計画の目指すもの～」といったサイエンスアゴラ2015の「話題」のほか、2015年の時代背景を反映した重要なテーマについて議論しました。

開幕セッションでは、国内外の政府機関、科学技術機関のキーパーソンに登壇いただいたほか、ノーベル賞受賞者の天野浩名古屋大学教授にご登壇いただき、サイエンスアゴラの意義について、主催者メッセージを発信しました。

また、閉幕セッションは、サイエンスアゴラ賞ほか各機関賞を授賞し、10周年を迎えたサイエンスアゴラの今後の挑戦について議論する場、としました。

当日の議論の様子は以下のURLに掲載していますのでご覧ください。 <http://www.jst.go.jp/csc/scienceagora/reports/>

■開幕セッション<第1部>

Fb-506

つくろう、科学とともにある社会 10周年記念年次総会 特別企画

日時：2015年11月13日(金) 13:30～14:45

会場：東京国際交流館 3階 国際交流会議場

企画提供：科学技術振興機構



登壇者

●第一部

濱口道成 科学技術振興機構 理事長

渡辺美代子 科学技術振興機構 副理事

森本浩一 内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当)

戸谷一夫 文部科学省 文部科学審議官

小野寺正 日本経済団体連合会 未来産業・技術委員会委員長、KDDI株式会社 取締役会長

大西隆 日本学術会議 会長

高橋宏治 日本学生支援機構 理事長代理

アン・グローバー アバディーン大学 教授

大竹暁 科学技術振興機構 上席フェロー



概要

第一部では、今年10周年を迎えたサイエンスアゴラの開幕を宣言。来賓のあいさつや、英国アバディーン大学アン・グローバー氏の基調講演が行われました。



■開幕セッション＜第二部＞

Fb-506

つくろう、科学とともにある社会
10周年記念年次総会 特別企画

日時：2015年11月13日(金) 15:00～16:30

会場：東京国際交流館 3階 国際交流会議場

企画提供：科学技術振興機構



登壇者

●第二部

天野浩

名古屋大学 教授、未来材料・システム研究所未来エレクトロニクス集積研究センター長

岩野和生

科学技術振興機構 研究開発戦略センター 上席フェロー

安西祐一郎

日本学術振興会 理事長

久間和生

内閣府 総合科学技術・イノベーション会議 議員

有本建男

政策研究大学院大学 教授

概要

第二部の特別セッションでは、2014年ノーベル物理学賞受賞者の天野浩氏の特別講演と、「サイバー社会と人間～REALITY2.0とこれからの社会～」と題したパネル討論を展開。登壇者たちが先端科学技術と社会の関わりについての洞察を披露しました。

■キーノートセッション1

Fb-506

サイエンス・コンテンツ・イノベーションの可能性
～ 先端科学者とクリエイターの交流を加速する ～

日時：2015年11月13日(金) 10:30～12:30

会場：東京国際交流館 3階 国際交流会議場

企画提供：早川書房、産学連携推進機構



登壇者

浅見正弘

富士フイルムホールディングス株式会社 取締役執行役員技術経営部長

高槻亮輔

株式会社インスパイア 代表取締役社長

藤井太洋

作家、SF作家クラブ会長

松尾豊

東京大学大学院 工学系研究科技術経営戦略学専攻 准教授、人工知能研究者

妹尾堅一郎

産学連携推進機構 理事長

概要

科学研究とSF小説や漫画などの作品が会うことによって一体何が生まれるのでしょうか。科学研究者、技術者、作家、ベンチャー投資家など、異分野で活躍する専門家たちが集まって、サイエンスとコンテンツとの出会いによって新しく生まれる知の可能性について夢を広げました。

■キーノートセッション2

Ab-105

世界各地で科学はどのように社会化されているのか

日時：2015年11月14日(土) 10:30～12:45

会場：日本科学未来館 7階 未来館ホール

企画提供：科学技術振興機構

登壇者

倉持隆雄

科学技術振興機構 研究開発戦略センター センター長代理
ヤン・スタマン

政策研究大学院大学 科学技術イノベーション政策研究センター スペシャルアドバイザー
原山優子

内閣府 総合科学技術・イノベーション会議 議員

デビッド・コーブ

ケンブリッジ大学 クレアホール フェロー

中村道治

科学技術振興機構 顧問

有本建男

政策研究大学院大学 教授

ピーター・ティンデマン

ユーロサイエンス事務局長

キム・スンファン

韓国科学創意振興財団 理事長

マッシミアーノ・ブッキ

トレント大学 教授

モハウ・ペコ

南アフリカ共和国大使館 特命全権大使

小林傳司

大阪大学 理事・副学長

大竹暁

科学技術振興機構 上席フェロー



概要

情報技術の浸透とグローバル化の中でオープン化・市民化されていく科学に、科学者や市民はどのように参加し、自らの活動を発展させていくのでしょうか。その現状と課題について、議論が交わされました。

■キーノートセッション3

Ab-084

サイバー社会の未来：欧州・日本の見解

日時：2015年11月14日(土) 13:30～15:00

会場：日本科学未来館 7階 未来館ホール

企画提供：駐日欧州連合代表部

登壇者

Philippe Codognot

フランス国立科学研究センター (CNRS)北アジア地域事務所 所長

北野宏明

ソニーコンピュータサイエンス研究所 代表取締役社長

Nicole Dewandre

欧州委員会通信ネットワーク・コンテンツ・技術総局(DG CONNECT) 総局長顧問

橋本周司

早稲田大学 副総長

Raja Chatila

パリ第6大学 教授・フランス国立科学研究センター 研究ディレクター

久木田水生

名古屋大学 准教授



概要

私たちは、ネットワークで高度につながった「サイバー社会」のなかにいます。サイバー社会は、産業にどのような影響を及ぼすのでしょうか。そして、人間のあり方をどう変えるのでしょうか。このセッションでは、「サイバー社会の未来：欧州・日本の見解」と題して、日本と欧州の専門家や研究者が、それぞれの立場から議論を交わしました。

■キーノートセッション4

Fb-508

世界へ！ ～留学によってcoolに変身した科学者と社会のつながり～

日時：2015年11月15日(日) 10:15～11:45

会場：東京国際交流館 3階 国際交流会議場

企画提供：科学技術振興機構

登壇者

伊藤公平

慶應義塾大学 理工学部物理情報工学科 教授

土谷大

米エネルギー省プログラムの研究責任者、九州大学 客員准教授、米日財団(USJLP) フェロー

田所ゆかり

日産自動車(株)

小島威裕

キヤノン(株)

大前敬祥

米国系戦略コンサルティングファーム所属

町田大輔

日本学生支援機構、文部科学省 官民協働海外留学創出プロジェクト事務局



概要

「海外に出ると何が経験できるのか」「留学で自分の人生がどう変化したのか」一。留学経験のある科学者、研究者が体験談を交え、留学の意義について若い人たちに語りました。

■キーノートセッション5

Fb-509

<国際光年特別セッション> 「ひかり」を通してみる 宇宙・時・わたしたちの歩みと未来

日時：2015年11月15日(日) 12:50-16:00

会場：東京国際交流館 3F 国際交流会議場

企画提供：科学技術振興機構

登壇者

荒川泰彦

東京大学 教授・ICO会長

臼田知史

国立天文台 教授

香取秀俊

東京大学 教授

村松亮太郎

アーティスト・(株)ネイキッド 代表

伊賀健一

東京工業大学 名誉教授・前学長

開催概要

2015年は国連が定めた「国際光年」です。これを記念したキーノートセッションとして、光に関する重要な研究をしてきた研究者や、光を用いたアートを作るアーティストらが登壇し、多様な視点から光の世界を紹介しました。



■ 閉幕セッション

Ab-107

サイエンスアゴラのこれまで・これから

日時：2015年11月15日(日) 16:00～18:00

会場：日本科学未来館 7階 未来館ホール

企画提供：科学技術振興機構

登壇者

渡辺美代子

科学技術振興機構 科学コミュニケーションセンター センター長

安藤慶明

科学技術振興機構 理事

大竹暁

科学技術振興機構 上席フェロー

駒井章治

奈良先端科学技術大学院大学 准教授・日本学術会議 若手アカデミー 会長アドバイザー

モハウ・ベコ

南アフリカ共和国大使館 特命全権大使

ラウィワン・ラオチャロエンスク

タイ国立ナノテクノロジー研究センター 研究員

坪井純子

キリン株式会社 執行役員

生田知子

文部科学省 大臣官房政策課 対話型政策形成室長

ピーター・ティンデマンス

ユーロサイエンス事務局長

柴田孝博

科学技術振興機構 科学コミュニケーションセンター 事務局長

概要

「閉幕セッション」では科学技術振興機構(JST) 科学コミュニケーションセンターの渡辺美代子センター長から、サイエンスアゴラ2015の報告が行われ、安藤慶明JST 理事のほか各機関の代表による今年の機関賞の授賞式が行われました。渡辺センター長による過去10年の振り返りと展望を受けた国内外の有識者によるパネルディスカッションでは、サイエンスアゴラの今後について議論されました。また、サイエンスアゴラの活動を来年(2016年)以降全国に広げ、関係者をつなげていくために、共有したいテーマが発表されました。



■ 注目企画1

Ab-104

女性参画拡大を科学する
～科学技術における多様な人材の参加～

日時：2015年11月13日(金) 10:30～13:00

会場：日本科学未来館 7階 未来館ホール

企画提供：米国国立科学財団、科学技術振興機構

登壇者

ケリーナ・クレグヘンダーソン

NSF社会科学局 副局長

シェリル・カイザー

ワシントン大学 心理学 准教授

シャッド・フォーブス

デラウェア大学 社会心理学 助教

渡辺美代子

科学技術振興機構 副理事(ダイバーシティ推進室長)

青木玲子

九州大学 理事・副学長・男女共同参画推進室長

大野由夏

北海道大学 経済学部 教授

矢尾育子

浜松医科大学 メディカルフォトンクス研究センター 准教授

高橋修一郎

株式会社リバネス 代表取締役社長COO

甲田彰

科学技術振興機構 理事



概要

日本では女性が参画する社会づくりが進む一方で、Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Mathematics(数学)の頭文字から取った「STEM(ステム)」と呼ばれる科学技術分野での女性の参画が進んでいません。本シンポジウムでは、性や人種、宗教などの違い、つまり多様性を活かす取り組みであるはずのダイバーシティ活動が、負の側面をもたらすこと、また、それに対処する重要性が報告されました。さらに組織の上層部や個人の意識改革を促すために、科学的根拠に基づく取り組みの必要性が指摘されたほか、女性が幼少期からの教育の過程で、男女の役割に対する固定観念や偏見を植えつけられることが、科学技術分野に進まないことへの影響も示唆されました。

■ 注目企画2

Fb-502

激論！ 先端ICTによるイノベーションチャレンジ

日時：2015年11月13日(金) 13:00～17:00

会場：東京国際交流館 3階 メディアホール

企画提供：科学技術振興機構 戦略研究推進部

登壇者

萩田紀博

株式会社国際電気通信基礎技術研究所 取締役

スチュアート・エヴァンス(ビデオ講演)

カーネギーメロン大学 教授

フランス・ソール・パルラダ(ビデオ講演)

カタルーニャ工科大学 名誉教授

栄藤稔

株式会社NTTドコモ 執行役員

金井良太

株式会社アラヤ・ブレイン・イメージング 代表取締役

黄瀬浩一

大阪府立大学大学院 工学研究科教授

カイ・クンゼ

慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 准教授

林千晶

株式会社ロフトワーク 代表取締役



概要

「ICT(情報通信技術)の最先端の研究成果により、いかにイノベーション(新価値創造による変革)を起こし社会的課題を解決していくか」をテーマに、講演やパネルディスカッションを展開。イノベーションを起こしていくことの重要性和必要条件、さらには今後の社会の在り方に至るまで、さまざまな意見が交わされました。

■ 注目企画3

Ab-091

日本の技術とソーシャルビジネスで社会課題に挑む

日時：2015年11月14日(土) 10:00～12:30

会場：日本科学未来館 7階 会議室1

企画提供：九州大学大学院システム情報科学研究所、グラミンコミュニケーション グローバルコミュニケーションセンター

登壇者

アシル・アハメッド

九州大学大学院 システム情報科学研究所 准教授

中島直樹

九州大学病院 メディカル・インフォメーションセンター 教授

大杉卓三

大阪大学 未来戦略機構第一部門 特任准教授

津野孝

グラミン・コミュニケーションズ 研究員

丸山則治

コニカミノルタ(株) ヘルスケアマーケティング部 地域グループリーダー

概要

バングラデシュの経済学者でノーベル平和賞受賞者のムハマド・ユヌス氏が設立した「グラミン銀行」を中心とした企業集合体の1社にIT・情報技術会社「グラミン・コミュニケーションズ」があります。同社と交流協定を締結した九州大学大学院は「ポータル・ヘルス・クリニック(PHC)」を提供するなど、ビジネスによってバングラデシュの低所得層を支援しています。この支援プロジェクトについて5人の関係者が紹介しました。



■ 注目企画4

Ab-096

みんなで2020年をソウゾウしよう!

日時：2015年11月14日(土) 10:00～13:00

会場：日本科学未来館 7階 会議室2

企画提供：アートで科学を刺激する会

登壇者

駒井章治

奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科 准教授

マッシミアーノ・ブッキ

トレント大学科学社会学 教授

竹内雄一郎

SONYコンピュータサイエンス研究所

概要

科学と芸術を相補的に組み合わせた取り組みを紹介し、科学の未来のビジョンを提唱。さらに、現代アートとテクノロジーを使った参加型ワークショップを通して、来場者の思考とソウゾウ(想像&創造)を誘導しました。



■ 注目企画5

Ab-087

オープンサイエンス革命 ～オンラインコラボレーションによる研究推進の可能性～

日時：2015年11月14日(土) 14:00～16:30

会場：日本科学未来館 1階 アゴラステージC

企画提供：アカデミスト

登壇者

堀川大樹

慶應義塾大学 先端生命科学研究所 特任講師

末広亘

京都大学 農学研究科昆虫生態学研究室 博士課程／日本学術振興会 特別研究員

榎戸輝揚

京都大学 白眉センター理学研究科宇宙物理学教室 特定准教授

湯浅孝行

理化学研究所 基礎科学 特別研究員

湯村翼

情報通信研究機構 サイバー攻撃対策総合研究センター 有期技術員／北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 博士課程

開催概要

このトークイベントでは5人の発表者が、「オンラインコラボレーション」という新しい研究スタイルについて、現在の取り組みやそれぞれの分野における海外の事例、成果を上げるための工夫などについて語りました。



■ 注目企画6

Ab-106

自動走行技術が創る未来社会

日時：2015年11月15日(日) 10:30～12:00

会場：日本科学未来館 7階 未来館ホール

企画提供：SIP 自動走行システム推進委員会

登壇者

渡邊浩之

SIP自動走行プログラム ディレクター

福島正夫

日産自動車

葛巻清吾

トヨタ自動車

横山利夫

本田技術研究所

岩貞みこ

自動車ジャーナリスト

概要

自動走行車とは、その名前のおり人間の運転なしで走行する自動車のこと。最近では運転支援技術を備えた車が実際に公道を走り始めたりもしていますが、完全な自動走行車はまだ実現していません。自動走行車と社会のあり方に関連して、現状と今後の展望について議論が交わされました。



■ 注目企画7

Cb-208

私たちが考える地球温暖化とエネルギー利用！

日時：2015年11月15日(日) 14:30～16:30

会場：産業技術総合研究所臨海副都心センター別館

11階 会議室1

企画提供：科学技術振興機構

登壇者

江守正多

国立環境研究所 気候変動リスク評価研究室長

古賀明嗣

国立研究開発法人科学技術振興機構 グリーンイノベーション担当研究監

概要

人間活動によって排出される温室効果ガスが主な原因である地球温暖化について中高生と共に学び、近未来に迫る危機と温室効果ガスの排出削減やエネルギー利用のあり方について対話型ワークショップを通して考えました。



■ アゴラ2015 注目企画8

Ab-099

文理融合で、人文社会科学はこんなに変わる！

日時：2015年11月15日(日) 14:30～16:00

会場：日本科学未来館 7階 会議室2

企画提供：日本学術会議 科学者委員会・科学と社会委員会

登壇者

戸田山和久

名古屋大学 情報科学研究科・哲学

有田隆也

名古屋大学 情報科学研究科・複雑系科学

亀田達也

東京大学 人文社会系研究科・社会心理学

概要

「人類の問題は理系用、文系用に分かれていない」。冒頭でこう語った企画者の熱意によって実現した本セッションでは、2人の研究者が、人文社会科学で扱われてきた心の問いに科学で迫る研究の最前線を紹介しました。



サイエンスアゴラ2015では、科学と社会の関係を深め、これからの豊かな社会をつくることに顕著な貢献をしたと認められる優れた企画を表彰するため、JST 賞、日本科学未来館賞、産業技術総合研究所賞、日本学生支援機構東京国際交流館賞、フジテレビ賞、リヌーピア賞、KADOKAWA 賞の7つの機関賞と参加者特別賞を授与しました。機関賞はそれぞれの授賞機関が選出し、参加者特別賞は来場者、企画提供者の投票により決定しました。

国立研究開発法人科学技術振興機構

JST賞

Ab-087 オープンサイエンス革命～オンラインコラボレーションによる研究推進の可能性～

企画提供者 アカデミスト

企画紹介

本企画は、各専門分野(情報科学、自然科学、人文・社会科学など)の研究者が、それぞれの分野におけるオンラインコラボレーションの実現可能性を提示し、実現へ向けた課題を整理していくことを目的としています。企画者が運営する日本初の「市民参加型」サービスでもある学術系クラウドファンディングサイト「academist(<https://academist-cf.com/>)」の運営ノウハウや実績を基に、実現可能性を重視したトークセッションを進めていきます。これからの科学政策にご興味のある社会人の皆さま、研究に携わる大学スタッフ・ポスドク、大学院生の皆さまには、ぜひお越しいただき議論に参加していただくと幸いです。

授賞理由

科学をオープンにするという考えと、オンラインで広く国民をつなぐ手法は、科学とともにある社会をつくるというサイエンスアゴラの趣旨をよく表しています。登壇者はじめ会場に集まった若い人の可能性とパワーに期待します。



日本科学未来館

日本科学未来館賞

Aa-034 なぞときiPS細胞

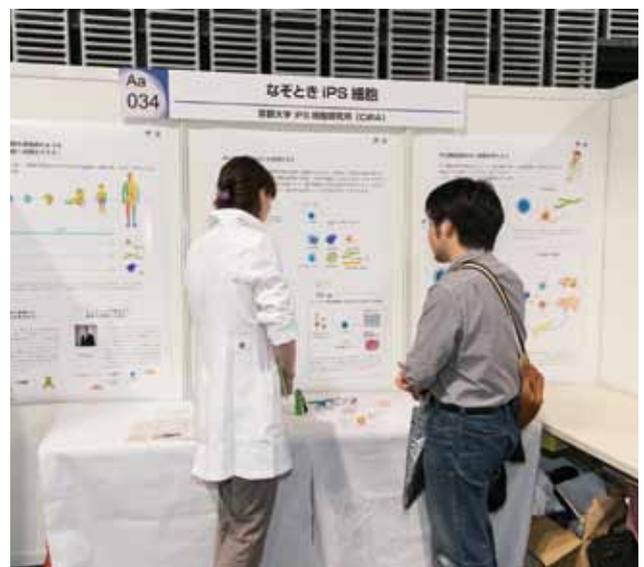
企画提供者 京都大学 iPS細胞研究所(CiRA)

企画紹介

iPS細胞って名前は聞いたことがあるけれど、どんなものかはよく知らないというひとも多いのではないのでしょうか？iPS細胞ってどんな細胞で、一体どんなことができるのか、ここではクイズに答えていくことでiPS細胞の謎を解き、小中学生でも楽しみながら、なんとなくiPS細胞について知ることができます。また、本物のiPS細胞やiPS細胞から作った神経や心臓や肝臓の細胞を観察することもできます。

授賞理由

企画「なぞときiPS細胞」は本物の細胞サンプルを見せながら、謎解き形式でiPS細胞の機能や再生医療の将来を語る、参加者とのコミュニケーションを通じて再生医療技術の光と影を共に考えていく非常にすばらしい企画と高く評価します。





国立研究開発法人産業技術総合研究所

産総研賞

Cb-211 SSH 高校生ディベート「遺伝子組換え食品は安全か」

企画提供者 岐阜県立岐阜農林高等学校

企画
紹介

高校生が主体となって「遺伝子組換え食品は安全か」についてディベート討論会を行います。世界では遺伝子組換え(GM)作物の栽培が始まっていますが日本では商業栽培はされていません。食料自給率が低く海外からの輸入に頼らなくてはならない日本は多くのGM作物を輸入しています。「なんとなく危険」と考える人が多くまだ商業栽培が始まっていない日本で高校生を中心にこの問題を考えたいと思います。参加者は事前学習によって意見をまとめ科学的な討論を「安全」「危険」の立場に分かれて行います。討論の内容を深めるためにグループ討論も行います。また、本校生だけでなく他の高校生や中学生、大学生そして消費者や研究者などの一般の方に参加していただき議論を深めたいと思います。

授賞
理由

遺伝子組換え食品の安全性について、事前のアンケートの実施、一般の方々にも参加していただく努力も含め、真摯な取り組みを評価しました。



独立行政法人日本学生支援機構

日本学生支援機構東京国際交流館賞

Aa-048 ヨーロッパライトハウス

企画提供者 駐日欧州連合代表部

企画
紹介

ヨーロッパにおける光の最新研究から、光がもつ可能性とその研究が私たち人類にもたらす効果——世界、自然界に対する理解促進や社会への貢献についてご紹介します。ブースでは、ヨーロッパのシンクロトロンや自由電子レーザー施設を取りまとめるCALIPSOプロジェクトをはじめ、放射光施設ELETTRAや、粒子加速器施設DIAMONDなど、世界をリードするヨーロッパの光研究施設について分かりやすく解説をしています。また、日本の高エネルギー加速器研究機構(KEK)、理研、東京工業大学やそのほかの研究者と行っている共同研究をピックアップし、国際的な共同研究の重要性について情報提供を行います。

授賞
理由

世界をリードするヨーロッパの研究施設についての解説や、日本国内の大学等の研究者との共同研究の紹介など、とても意義深い内容であり、日本人学生の海外の学術研究への興味・関心の促進につながり、ひいては海外留学や国際相互理解の増進に寄与するものと考えられることから、当機構の目的にも沿ったものと考え、選考いたしました。



株式会社フジテレビジョン

フジテレビ賞

Aa-070 どきどきわくわく！ 科学工作をつくってあそぼう！

企画提供者 東京工業大学公認サークル 東工大ScienceTechno

企画
紹介

目で見ることができなかつたり、教科書に載っているがなかなかイメージできなかつたりするものを体感することができるような科学工作を出展しようと思います。例えば、正三角形パズルやくるくるへびさんなどです。正三角形パズルでは様々な形の空間図形を自分の手で作り、様々な角度から観察することができます。くるくるへびさんでは目で見ることのできない音波を音によるモールの動きとして見るすることができます。自分の手で作り、自分の目や耳で感じることで五感を使った体験をしてもらうことを目的にしようと思います。

授賞
理由

電池と磁石からモーターを作るという企画の分かりやすさと、出来るモーターの意外性、科学の楽しさを体験させる素晴らしいエンターテインメント性にフジテレビ賞を贈らせていただきます。



パナソニックセンター東京

リスーピア賞

Da-305 図形と空間の不思議 ～敷き詰め模様で遊ぼう！～

企画提供者 日本テセレーションデザイン協会

企画
紹介

来場者が敷き詰め模様のパズルを組み立てるワークショップ形式の展示を行います。サイエンスアゴラを機に始まった共同研究の成果に基づく独創性の高い内容を提供します。特に今年はアルゴリズム(前回)と化学(前前回)を踏まえた最新の成果を発表します。パズルは年代国籍問わず形をみれば簡単に遊べ、組み合わせ方による形や色の違いを楽しみながら背後にある科学への好奇心をそそるものを提供します。

授賞
理由

図形のおもしろさをわかりやすい積み木、折り紙で上手に表現するツールをうまく活用し、子どもたちの興味を素直に引き出していました。



株式会社KADOKAWA KADOKAWA賞

Cb-204 サイエンス・エンジェルと語る理系女子の現在過去未来

企画提供者 東北大学 サイエンス・エンジェル

企画紹介

本企画では、東北大学に10年前に結成された理系女子大学院生の集まりであるサイエンス・エンジェル(SA)の活動紹介および進路選択や将来の仕事に関するSAを対象としたアンケート結果を展示し、理系女子の現在・過去・未来を考える機会を提供します。また、研究紹介の展示も行い、SA2名がポスターや模型などを用いて最先端の科学技術を分かりやすく紹介します。来場者には随時対応するだけでなく、誰でも参加できる座談会の時間を設けて双方向のコミュニケーションを図ります。SAOGによる輝友会も参加を予定しています。



授賞理由

理系女子としての積極的な科学、サイエンスの普及に対する多大な貢献を高く評価します。

参加者特別賞

Db-338 君たちも化学者 ～光と電池の実験をしよう！～

企画提供者 日本化学会 普及交流委員会

企画紹介

実験1「光を分けよう！」

分光シートを使って光を分ける実験を行います。白く見える蛍光灯の光も七色の光に分かれます。光の三原色である赤色、青色、緑色のLEDライトの光を混ぜて紫色、水色、黄色、白色の光を作り、これらの色が何色からできているかも実験で確認します。色の三原色と光の三原色の比較ができます。

実験2「備長炭電池を作ろう！」

備長炭を用いて電子オルゴールを鳴らす実験を行います。食塩水をしみこませた紙で備長炭を包み、その上をアルミホイルで囲みます。木炭はたくさんすきまに空気を保持でき、電気を通す性質があります。これを利用して電池を作ります。いろいろな電池の仕組み、性質を学ぶことができます。



授賞理由

来場者投票者数1位同点

参加者特別賞

Ea-401 物理ゲーム館「種は風によって」

企画提供者 東京電機大学理工学部「物理ゲーム館」

企画紹介

科学技術立国を目指す日本で物理好きを増やすために、ゲームで遊んで物理を学び、自然を見る目を育む場を提供するのが「物理ゲーム館」です。今年は、植物の種が持つ飛翔力を体験する二種類のゲームを行います。参加者は、自分の作った飛行体でできるだけ高く、あるいは遠くへ飛ばすゲームを行います。このような自然界の植物や動物が持つ機能を技術に生かす試みは、最近特に注目されています。物理ゲーム館は、東京電機大学理工学部の有志教員が自発的に立ち上げ、サイエンスアゴラへの出展以外にも毎年数回の公開イベントを開催しています。ゲームは茶箱に詰めて全国どこにでも展開できますので、全国の科学館との連携を目指しています。



授賞理由

来場者投票者数1位同点

会場MAPと企画配置



※会場内の番号は、プログラムの「Ga-」が省略されています。

A会場：日本科学未来館(110企画)

主に高校生～大人向け企画
【セッション枠】
 13日(金)
 ・ダイバーシティ推進、IT 利活用に関する問題など
 14日(土)
 ・研究100連発
 ・キーノートセッション(科学の社会化、サイバー社会)
 ・オープンサイエンス、地球規模課題や先端バイオサイエンス、科学の諸課題を議論・発信する企画など
 15日(日)
 ・キーノートセッション(開幕、サイエンス・コンテンツ・イノベーション)
 ・海洋研究、文理融合、レギュラトリーサイエンスに関するものなど
【ブース出展】
 ・最先端の研究開発を発信し考える企画(大学、研究機関、JSTプロジェクトなど)
 ・大学等の教育・研究開発環境についての出展
 ・地域に根ざした活動とグローバルな出展 ～北海道から九州、欧州、南アフリカまで～

B・C会場：産業技術総合研究所(11企画)

産業技術総合研究所の一般公開
 科学コミュニケーションに関する諸問題や遺伝子組換えに関するワークショップなど

D会場：東京都立産業技術研究センター(47企画)

都産技研の一般公開
 子供・親子連れ向け企画
【同時開催】
 セーフティグッズフェア with サイエンスアゴラ2015

E会場：フジテレビ湾岸スタジオ(4企画)

体験ブース
 自然エネルギー、物理ゲームなど

F会場：東京国際交流館(19企画)

主に大型シンポジウムおよび高校生向け企画
【大型企画】
 13日(金)
 ・キーノートセッション(開幕、サイエンス・コンテンツ・イノベーション)
 14日(土)
 サイエンスアートに関する実習など
 15日(日)
 ・キーノートセッション(留学促進プログラム、国際光年)
 ・JST 理数事業「科学の甲子園体験」等
【セッション枠】
 ・アゴラでスキルアップ①、②、③
 ・プログラミング体験など
【ブース出展】
 ・文部科学省 「トビタテ」など

G会場：シンボルプロムナード公園(3企画)

大型展示企画など
 パーソナルモビリティ体験、地層処分など

会場別プログラム

●日本科学未来館(A会場)

企画番号	企画タイトル	企画提供者
Aa-001	科学実験とディスカッションで未来について考えよう	河合塾 未来研究プログラム
Aa-002	科学をもって旅にでよう	埼玉県立浦和東高等学校 総合科学研究部・SPP
Aa-003	若手インフラ技術者と共に考える2020年の社会	国土総合研究機構 低炭素マネジメント技術研究会
Aa-004	臓器提供意思表示を広める科学コミュニケーション	同志社大学 Share Your Value PJ
Aa-005	Life is small スマホ顕微鏡と市民科学の未来	Life is small Project
Aa-006	ノンアルコールワイン開発から学んだワインの科学と文化	徳島文理大学 理工学部
Aa-007	そうそう！2020年の未来社会 ～みんなの仮想研究所2015～	科学技術振興機構 CREST、さきがけ、ERATO
Aa-008	Magical Card	Addressable Screen project
Aa-009	脳のしなやかさを体感！未来のリハビリテーションとは？	慶應義塾大学 リハビリテーション神経科学研究室
Aa-010	超音波のちから ～手で感じる、ものが浮く～	星 貴之
Aa-011	中学生が作る環境映画 ～バケツ仮面展～	板橋区立高島第一中学校 科学部&美術部
Aa-012	Saving coral, predicting earthquakes, fighting Malaria - stories of successful Australia/Japan science collaboration	Science in Public
Aa-013	ケムステ出張版！「広がる化学の世界」	化学ポータルサイト Chem-Station (ケムステ)
Aa-014	つくろう、昆虫食とともにある社会	食用昆虫科学研究会
Aa-016	五感で感じる産学連携	科学技術振興機構 産学連携事業
Aa-017	はこだて国際科学祭～地方都市発よりよい社会のために～	サイエンス・サポート函館
Aa-018	研究倫理教育におけるSTSステートメントの実践	九州大学 科学技術イノベーション政策教育研究センター
Aa-019	科学いや～！黒ラブ教授サイエンスコミュニケーション	黒ラブ教授(国立科学博物館認定サイエンスコミュニケーター)
Aa-020	Instagramを使った科学発信の取り組み紹介	山口 大輔
Aa-021、Cb-209	広がりゆく科学のひろばの担い手たち	東京国際科学フェスティバル実行委員会
Aa-022	「ATGC展～芸術の目から見る生物学～」の開催報告	ATGC展企画
Aa-023	科学にQuest！サイエンストークで世界を変えよう	KagaQ - Let's Try Science Talk -

Aa-024	輝く未来の女性科学者STORY	大阪工業大学工学部応用化学科 サイエンスアラカルトエコール女子学生チーム
Aa-025	ジェンダーサミットが切り拓く！世界・科学・新潮流	科学技術振興機構 ダイバーシティ推進室
Aa-026	台風から変わった温帯低気圧に名前をつけよう！	文京区立第三中学校科学部
Aa-027	女子生徒・学生を応援！「理工チャレンジ」リコチャレ	内閣府(男女共同参画局)
Aa-028	アジアの架け橋～JSTさくらサイエンスプラン～	科学技術振興機構 日本・アジア青少年サイエンス交流事業推進室
Aa-029	電子ほたる・水滴顕微鏡	travelling museum 博物倶楽部
Aa-030	南アフリカ～Living Laboratory～	南アフリカ共和国大使館
Aa-031	プログラミングに触れよう！	東京都立富士高等学校・附属中学校 科学探究部 物理班
Aa-032	ぐんま☆じゅとく☆kawaiiスライム×生糸をつくろう☆	樹徳高等学校 理科部
Aa-033	医療と放射線 知ってほしい3つのこと	放射線医学総合研究所
Aa-034	なぞときiPS細胞	京都大学 iPS細胞研究所(CiRA)
Aa-035	日本発の科学技術イノベーションが未来を拓く！	内閣府SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)
Aa-036	ビッグデータ、人工知能、超スマート社会 ー未来社会を支える科学技術情報ー	科学技術振興機構 情報企画部、知識基盤情報部、情報分析室、バイオサイエンスデータベースセンター(NBDC)、ジーサーチ
Aa-037	健康を科学する	東京有明医療大学 保健医療学部
Aa-038	実務経験の達人、企業OB/OGと学校と仕事の繋がりを話そう！	経営支援NPOクラブ
Aa-039	外来種と在来種～生物多様性と自然共生社会を考える～	生物多様性保全協会
Aa-040	雪の重さってどのくらい？実際にはかかって感じてみよう	日本雪氷学会
Aa-041	世界に一つの岩石標本製作～ジオパークを楽しもう！～	日本ジオパークネットワーク
Aa-042	記事にコメント！みんなで作るアゴラ新聞	サイエンスカフェとやま
Aa-043	弾むスライム作り！&TMU-SFC活動紹介	TMU-SFC
Aa-044	数えきれない粒々と光～粒々と光の関係～	日本コンピュータ化学会
Aa-045	作って楽しむ万華鏡の不思議	正多面体クラブ
Aa-046	不思議なシート「偏光板」で遊ぼう！	東京大学サイエンスコミュニケーションサークルCAST
Aa-047	光が魅せる体の中のアートな世界	理化学研究所(CDB、CLST、HPCI、QBiC)
Aa-048	ヨーロッパライトハウス	駐日欧州連合代表部
Aa-049	宇宙の謎に挑む次世代超大型望遠鏡TMT	国立天文台
Aa-050	望遠鏡の「視力」向上～補償光学装置を体験しよう～	京都産業大学 神山天文台
Aa-051	113番元素を作ろう！～日本発の新元素～	理化学研究所 仁科加速器研究センター
Aa-052	世界最強のゲルと未来を照らす透明インクを体験しよう	北海道大学 物質科学リーディングプログラム
Aa-053	ミクロを見る放射光 チョコの美味しさも見えた！	高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所
Aa-054	材料こそ世界を変える！	物質・材料研究機構
Aa-055	火炎の中にトンネル！～新しい概念の中空チューブ～	フォレストリア用瀬
Aa-056	「ひかり」を追い続けた科学者たち	ヴォイニッチの科学書(くりらじ)
Aa-057	光と色の科学実験 ルミネッセンス	早稲田大学本庄高等学院 SSH部
Aa-058	若手研究者が伝えたい光合成の現在・過去・未来	日本光合成学会若手の会
Aa-059	モレキュリアス！～身の周りの分子を感じよう～	名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研究所
Aa-060	伝えよう！バイオの世界を	神奈川工科大学 応用バイオ科学科
Aa-061	私たちがサルと同じところ、サルと違うところ	人類学会教育普及委員会、神奈川県立生命の星・地球博
Aa-062	親子で本気の理科実験	理科教育研究フォーラム
Aa-063	生き物の部品のカタチにさわってみよう！	日本蛋白質構造データバンク(PDBj)
Aa-064	ちばっとプロジェクト 身近なコウモリのひみつを探れ	ちば生きもの科学クラブ
Aa-065	生体分子の左右性～科学折り紙で鏡の国を体験しよう～	科学芸術学際研究所(ISTA)
Aa-066	暮らしを支える天然物質～新しいものづくり法の提案～	文部科学省新学術領域研究「生合成マシナリー」総括班
Aa-067	Catalysis Park 2015「触媒ってなあに？」	触媒学会



実施プログラム一覧

Aa-068	「こころ」を科学するわくわく心理学実験体験	日本基礎心理学会「心の実験パッケージ」開発委員会
Aa-069	タカラガイのストラップを作って知る生物多様性	あうるの森
Aa-070	どきどきわくわく！科学工作をつくってあそぼう！	東京工業大学公認サークル 東工大ScienceTechno
Aa-071	リングキャッチャーで遊ぼう	科学講座研究会
Aa-072	The アルキメデス ～ギリシャの英知を現代に～	Supporting Science Experiment
Aa-073	気がつけばそこにあるもの ～グラス分子アクセサリー～	北里大学一般教育部 ガラス細工懇和会
Aa-074	まちなかで科学体験！コロンブスの卵プロジェクト	八戸工業高等専門学校 科学部
Aa-075	イネ ～遺伝子組換えが切り開く新たな育種の地平～	農業生物資源研究所 遺伝子組換え研究センター
Aa-088	さわれる・不思議ミニミュージアム ミニエクスプロ	ミニ・エクスプロラトリウムを創る会
Aa-089	科学の心 日本の心（茶の科学）	裏千家インターナショナルアソシエーション
Aa-090	ギガスターで体感！最先端技術が観た、遥かなる銀河！	ギガスター
Aa-108	Science on the Streets	日本科学未来館
Ab-076	科学いや～！黒ラブ教授サイエンスコミュニケーション	黒ラブ教授(国立科学博物館認定サイエンスコミュニケーター)
Ab-077	研究100連発	ニコニコ学会β実行委員会、科学技術振興機構
Ab-078	イノベーションを狙ってみよう！～ImPACT参加型ワークショップ～	科学技術振興機構 革新的研究開発推進室
Ab-079	KOSENアゴラ ～高等専門学校って何だ？～	国立高等専門学校機構(KOSEN)
Ab-080	未来社会を支える科学技術情報を活用しよう！	科学技術振興機構 情報企画部、知識基盤情報部、情報分析室、ジー・サーチ
Ab-081	科学映像をつくろう！	タブレット映像研究会
Ab-082	2020年、日本人は昆虫を食べているか？～未来の昆虫食ロードマップを描く～	食用昆虫科学研究会
Ab-083	数えきれない粒々と光 ～粒々の形と動き～	日本コンピュータ化学会
Ab-084	サイバー社会の未来：欧州・日本の見解	駐日欧州連合代表部
Ab-085	公的研究とその役割—ヨーロッパ・日本の未来社会の形成に向けて	駐日欧州連合代表部
Ab-086	ヨーロッパライトステージ	駐日欧州連合代表部
Ab-087	オープンサイエンス革命～オンラインコラボレーションによる研究推進の可能性～	アカデミスト
Ab-091	日本の技術とソーシャルビジネスで社会課題に挑む	九州大学院システム情報科学研究院、グラム・コミュニケーションズ、グローバルコミュニケーションセンター(GCC)
Ab-092	うなぎプラネット ～うなぎの保全をめざして～	日本大学 総合研究「うなぎプラネット」
Ab-093	暗黒の海底に光をあてる	海洋研究開発機構
Ab-094	バイオ研究で世界へ羽ばたけ！10代サイエンティスト！	日本科学未来館
Ab-095	マイナンバー制でどうなるニッポン!? IT利活用の発展と社会	科学技術振興機構 社会技術研究開発センター (RISTEX)
Ab-096	みんなで2020年をソウゾウしよう！	アートで科学を刺激する会
Ab-097	先端バイオサイエンスの科学カフェ	イノベーションネットワーク
Ab-098	レギュラトリーサイエンスの理解と社会応用	日本学術会議 科学と社会委員会 広報・科学力増進分科会
Ab-099	文理融合で、人文社会科学はこんなに変わる！	日本学術会議 科学者委員会・科学と社会委員会
Ab-100	ミンナでカタル、日本の未来 「気候変動とエネルギー」	科学技術振興機構 科学コミュニケーションセンター、日本科学未来館
Ab-101	フューチャー・アース ～持続可能な地球社会に向けて～	日本学術会議 フューチャー・アースの推進に関する委員会、総合地球環境学研究所、科学技術振興機構
Ab-102	Symposium: Science as news: what are Western journalists looking for in Japanese science?	Science in Public
Ab-103	国民病「がん」の治療法を選べる時代がやってきた	くらしとバイオプラザ21
Ab-104	女性参画拡大を科学する ～科学技術における多様な人材の参加～	米国国立科学財団東京事務所、科学技術振興機構 ダイバーシティ推進室
Ab-105	世界各地で科学はどのように社会化されているのか	科学技術振興機構
Ab-106	自動走行技術が創る未来社会	SIP自動走行システム推進委員会
Ab-107	閉幕セッション サイエンスアゴラのこれまで・これから	科学技術振興機構
Ab-109	オープニングイベント:サイエンスアゴラ2015とヨーロッパ	駐日欧州連合代表部
Ab-110	ゲノム編集にどう向き合うか	日本科学技術ジャーナリスト会議、政策研究大学院大学、科学技術振興機構

●産業技術総合研究所 臨海副都心センター本館(B会場)、別館(C会場)

Ba-201、Ca-203	産総研 臨海副都心センター一般公開	産業技術総合研究所 臨海副都心センター
Cb-204	サイエンス・エンジェルと語る理系女子の現在過去未来	東北大学 サイエンス・エンジェル
Cb-205	なぜ科学を嫌いになるのか？	コミュニティ研究会
Cb-206	未来社会をデザインしよう ～2020年からの東京～	根本的エンジニアリング普及啓発プロジェクト
Cb-207	科学における発見、数学における発見	数学協働プログラム
Cb-208	私たちが考える地球温暖化とエネルギー利用！	科学技術振興機構
Cb-209、Aa-021	広がりゆく科学のひろばの担い手たち	東京国際科学フェスティバル実行委員会
Cb-210	地域発の問題解決型科学コミュニケーションが創る未来	科学技術振興機構 科学コミュニケーションセンター
Cb-211	SSH高校生ディベート「遺伝子組換え食品は安全か」	岐阜県立岐阜農林高等学校
Cb-212	ミュージアム・ティーチャー（博物館教員）全員集合！！	全国博学連携ワークショップ企画グループ

●東京都立産業技術研究センター（D会場）

Da-301	SFビプリオバトル	SF文学振興会
Da-302	宇宙エレベーター実験教室と未来の宇宙開発について	宇宙エレベーターロボット競技会実行委員会、日本大学理工学部
Da-303	面白い科学工作「宇宙の奥を覗く」	慶應技術士会
Da-304	これからの宇宙探査	宇宙航空研究開発機構
Da-305	図形と空間の不思議 ～敷き詰め模様で遊ぼう！～	日本テセレーションデザイン協会
Da-306	つくろう！こわそう！ポリヘドロン(正多面体)	丹誠塾 DIG・STACK
Da-307	3Dプリンターでモノづくりに挑戦しよう	マーブルワークショップ
Da-308	映像メディア利用による「環境」理解促進のプログラム開発	マイクロミュージアムラボラトリー
Da-309	天文学を楽しみたい	日本宇宙少年団さくら分団
Da-310	いつでも・どこでも・だれでも天体観測	慶應義塾大学 インターネット望遠鏡プロジェクト
Da-311	4D2U/MITAKAの体験を通して自らの地球感を創ろう！	金沢工業大学 サイエンスコミュニケーションプロジェクト
Da-312	わたしたちの生活と海の研究	日本海洋学会 教育問題研究会
Da-313	深海へいこう！～深海探査体験～	海洋研究開発機構
Da-314,Ga-603	地上の太陽～核融合エネルギー～	日本原子力研究開発機構 核融合研究開発部門
Da-315	高レベル放射性廃棄物の処分問題について一緒に考えてみませんか	原子力発電環境整備機構
Da-316	チャレンジ廃炉～最先端技術の結集～	文部科学省、科学技術振興機構
Da-317	見て触れて学べる放射線ものづくり	日本原子力研究開発機構
Da-318	数学アート～見て触れて分かる数学～	堀川 由人
Da-319	色素の七変化～身近にある色を実感する～	大阪工業大学 サイエンスアラカルトエコールプロジェクト
Da-320	地球のカケラで恐竜を描こう！～地中の科学～	国土防災技術
Da-321	ワクワクドキドキ ワンダースクール 学校を科学館に	ワクワクドキドキ ワンダースクール
Da-323	高度な専門技術者が提供する科学技術実験と解説	公益社団法人日本技術士会
Da-324	工学を通して科学技術の世界にふれてみよう！！	東京大学生産技術研究所 次世代育成オフィス(ONG)
Da-325	未知との遭遇・・・美しい科学の世界へようこそ！	和光純薬工業
Da-326	Bones～骨と遊ぼう！～	川崎医科大学 現代医学教育博物館
Da-327	わくわくキドルイワールド	室蘭工業大学 環境調和材料工学研究センター
Da-328	観てみよう！とても不思議な声の世界	ソラオト
Da-329	気象予報士とお天気実験！	日本気象予報士会サニーエンジェルズ
Da-330	科学マジックでびっくりしませんか？	富山大学工学部 科学マジックプロジェクト
Da-331	バイキングズワールド2015	大阪市立大学×国立感染症研究所×ノウション
Da-332	コミックマーケットの科学系サークル連合	コミックマーケットの科学系サークル連合
Da-333	かがく縁日パートⅦ	科学読物研究会



実施プログラム一覧

Da-334	未来へつなぐ Safe Life ～つくば最先端科学技術～	つくばサイエンスツアーオフィス 茨城県科学技術振興財団
Da-335	茨城県北ジオパークを通じた地域振興	茨城大学 地質情報活用プロジェクト
Da-336	山に登って宇宙へ行こう ～宇宙飛行士ってどんな人？～	山に登って宇宙へ行こう実行委員会
Da-337	科学ライブショー「ユニバース」へようこそ	科学ライブショー「ユニバース」
Da-348	都産技研ミニ見学ツアー	東京都立産業技術研究センター
Db-322	3つのライフはすばらしい ～生命・生活・人生を考える～	日本医療研究開発機構
Db-338	君たちも化学者 ～光と電池の実験をしよう！～	日本化学会 普及交流委員会
Db-339	わくわく実験教室 犯人は誰だ？ 化学の技で謎を解け！	日本化学会 実験体験小委員会
Db-340	見て！聞いて！かがく絵本の読み隊がやってきた！ パートVI	科学読物研究会
Db-341	「こども科学オリンピック」親子の絆で科学技術を育てる	ニコニコ科学研究所
Db-342	実験工作と一緒に、読み聞かせ！ HowTo講座	科学の本の読み聞かせの会「ほんとはんと」
Db-343	蜃気楼(しんきろう)を手元のケースの中に手作りする	夏目 雄平
Db-345	チャレンジ魔炉 ～フロンティアと研究者達の夢～	文部科学省、科学技術振興機構館
Db-346	科学オリンピックに集え！ 若きヒーロー・ヒロインたち	科学技術振興機構 理数学習推進部
Db-347	ペットボトル掃除機をつくろう	東京都立産業技術研究センター

●フジテレビ湾岸スタジオ (E会場)

Ea-401	物理ゲーム館「種は風によって」	東京電機大学理工学部「物理ゲーム館」
Ea-402	自然エネルギーを使おう ～電気を創り、貯え、動かす～	主催:電気理科クラブ 共催:東京工芸大学EVサークル 協賛:一般社団法人 電気学会
Ea-403	夢をのせて飛ばしてみよう	自由が丘サイエンスキッズ
Ea-404	よく飛ぶ折紙飛行機を作ろう	青森県立三沢航空科学館

●東京国際交流館 (F会場)

Fa-501	トビタテ！ 留学JAPANの紹介	文部科学省 官民協働海外留学創出プロジェクト
Fa-519	ドーム映像で「すべてのはじまり」を見に行こう	アイカム
Fb-502	激論！ 先端ICTによるイノベーションチャレンジ	科学技術振興機構 戦略研究推進部
Fb-503	はじまりはいつもなぜ？～疑問から始まる科学研究～	科学技術振興機構 理数学習推進部
Fb-504	Enjoy 科学!! ～キミにもできる！ 科学の甲子園体験～	科学技術振興機構 理数学習推進部
Fb-505	サイエンス・コンテンツ・イノベーションの可能性 ～先端科学者とクリエイターの交流を加速する～	早川書房×産学連携推進機構
Fb-506	開幕セッション つくろう、科学とともにある社会 10周年記念年次総会 特別企画	科学技術振興機構
Fb-508	世界へ！～留学によってcoolいに変身した科学者たち～	科学技術振興機構
Fb-509	国際光年特別セッション 「ひかり」を通して見る宇宙・時・わたしたちの歩みと未来	科学技術振興機構
Fb-510	元素検定2015 ～君も元素ハカセになろう！～	元素周期表同好会
Fb-511	本音で語る研究費問題 ～幸せに研究するために～	横山雅俊、榎木英介、三輪佳子、#phdjp-WG
Fb-512	1,500円子どもパソコンIchigoJamを使ったBASICプログラミング学習	プログラミング クラブ ネットワーク
Fb-513	非平衡の世界(非線形現象)をのぞいてみよう！	桜美林大学 リベラルアーツ学群
Fb-514	温故知新 -みんなでつくろう、災害に強い社会-	国際研究交流大学村
Fb-515	アゴラでスキルアップ①魅せる・伝わる研究のビジュアルデザイン	田中 佐代子
Fb-516	アゴラでスキルアップ②プレゼンテーションの基本スキル	大崎 章弘(科学コミュニケーター)
Fb-517	アゴラでスキルアップ③知的財産の基礎知識	科学技術振興機構 知的財産戦略センター
Fb-518	サイエンスアートの世界、実習講座。	Tane+1 LLC
Fb-520	中高生脳クイズ大会 脳クイズ王に挑戦だ！	日本脳科学関連学会連合

●シンボルプロムナード公園 (G会場)

Ga-601	シンプルでスタイリッシュなパーソナルモビリティ WHILL	WHILL株式会社
Ga-602	高レベル放射性廃棄物の処分問題について一緒に考えてみませんか	原子力発電環境整備機構
Ga-603	地上の太陽 ～核融合エネルギー～	日本原子力研究開発機構 核融合研究開発部門



■サイエンスアゴラ2015企画提供者にうかがいました！

①サイエンスアゴラ2015のひとこと感想を記載ください。

- 1 多くの参加者の方に私たちのワークショップに参加してもらい科学分野のみではない方とお話することができて勉強になりました。
- 2 理科離れ、科学離れの子もたちが増えているとは思えないくらいに、科学に興味を持つ子どもたちが多く感じた。
- 3 今回初めての参加です。発足してまだ1年の完全なボランティアグループの我々にとって活動内容のPRなど情報発信ができる大変貴重な場となりました。このような機会を与えていただいた事に感謝しております。
- 4 近年、エンタメ系の企画が目立ちましたが、一昨年くらいから社会との関係や双方向性を内容に含み、来場者の自然な参画を促す出展企画が増えたと感じます。この流れは大切にしたいです。
- 5 研究機関、サイエンスコミュニケーション関係者、一般の方との交流の場になっているので、このようなイベントは大変貴重であり、重要であると思います。
- 6 今年が初参加だったのですが、連日大変な賑わいで大変驚きました。ほぼ途切れることなくブースに来場者がいらして、多くの方とお話させて頂けてとても充実したものとなりました。
- 7 日本全国からの来場者・外国の方とのサイエンスコミュニケーションができる素晴らしい場だと思います。
- 8 アゴラ10周年ということで多くの企画提供者と来場者が集まり、とても楽しく有意義な時間を体験することが出来ました。自分のブースを飛び出し、いろいろな企画を体験することができてよかったと思います。
- 9 ビジョン、話題が設定されていますが、企画提供者が多く多岐にわたっているため、どちらの方向を向いているのかわかりません。来場者は、そんなことは気にしていないかもしれませんが、もう少し企画提供者を少なくしてもいいと感じます。ただ、何かを発見して驚く来場者の顔を見るのは、企画提供者として何よりの楽しみです。
- 10 わーっとしたお祭り感はあるが、何をしたいのかわからないので、家族連れ以外の専門の方(学者や政治家、官僚や産業界の皆さん)を動員したいのであれば、テーマを一つに絞り明確にすべき。

②サイエンスアゴラでは、ビジョンとして「つくろう、科学とともにある社会」を掲げました。このビジョンについて、どのようにお考えですか。また、このビジョンの精神がサイエンスアゴラ2015から感じ取れましたか。

- 1 実際に社会は科学とともにあるものだという認識が深まりました。社会の中にたくさんの科学が関係していることがアゴラから感じ取れました。
- 2 「科学とともにある社会」というよりも「社会とともにある科学」は十分に実感できた。
- 3 科学技術の発展(成果)が、身近な生活に活かされていることは理解していただいたと思われるので、ビジョンとして良かったと思う。科学未来館と都立産業技術研究センターの会場を見たところ、ある程度、ビジョンの精神が感じられた。
- 4 科学や技術の成果が還元された結果、現代の社会があり、さらに未来への希望につながるというメッセージはあちこちで見られたと思います。一方で基礎研究と呼ばれる分野について、意義や有り様といった社会とのつながりをもう少し強く出していれば新しいメッセージにつながると思います。
- 5 トークイベントや、ブースでの体験が数多く、来場者と研究者の接点を持つことができビジョンが実態を伴っており望ましいと感じました。
- 6 科学は社会の持続可能な発展に貢献しなければなりません。したがって、科学研究で得られた成果(科学技術)が、社会の持続可能な発展にどのように貢献しているのかを、一般の方が知る機会が必要です。サイエンスアゴラは、これを実現するよい機会になると思いますし、実際にその役目は果たしていると思っています。
- 7 科学技術イノベーション立国を目指す催事のビジョンとして良いと思います。科学技術の最先端の様々な出展が用意され、様々な人々が来場し、その熱心さに「ビジョンの精神」が感じ取れました。
- 8 良いと思うが、普遍的であり特徴があるわけではないので、このビジョンがあるからどうこうということにはならないかな。
- 9 科学技術立国を掲げる日本にとって、科学が社会と密接に関わることは重要な課題と思う。そうした社会を企画提供者である我々と来場者の方で目指していく強い意志が感じられる、魅力的なビジョンだと考える。実際のイベントとして見た際には、研究機関のブースでは最先端の技術やその展望について知ることが出来たし、ボランティアやサークル等の団体の出展でも様々な科学的な知見が真摯に扱われており、この精神は十分に達成されていると感じた。
- 10 小さなお子様連れの方も多く、科学をただ楽しむ/楽しませることが目的のように感じた。小さいお子様には、ともにある社会を考えるのは難しかった。

サイエンスアゴラ2016でお会いしましょう。

サイエンスアゴラ2016(予定)

2016年11月3日(木・祝)～6日(日)
東京・お台場地区にて開催

OFFICIAL HP

<http://www.jst.go.jp/csc/scienceagora/>



サイエンスアゴラ 2015